

News Release

2015年8月3日

600Lクラス^{*1}を上回る大容量冷凍室「メガフリーザー」を実現した、551Lタイプが新登場

プラズマクラスター冷蔵庫 3機種を発売

シャープは、大容量冷凍室を実現した「メガフリーザー」シリーズを拡充、新たに551Lタイプ<SJ-GT55B>をラインアップした、プラズマクラスター冷蔵庫3機種を発売します。

昨年発売した「メガフリーザー」シリーズは、「いろいろな冷凍食品を買い置きするので、重宝している」「整理整頓できるから、冷凍食材の廃棄が減った」「野菜室が真ん中にあるので、出し入れが楽」など、大容量の冷凍室と野菜室の使いやすいレイアウトに高い評価をいただいています。

新製品<SJ-GT55B>は、冷却器ユニットのコンパクト化・高効率配置により、551Lの容量ながら、600Lクラス^{*1}の冷凍室容量(176L)を上回る192Lの大容量冷凍室「メガフリーザー」を実現しました。買い物カゴ約5個分も収納でき、大きな食材がそのまま保存できます。また、下段冷凍室には、冷凍ケースを自由に仕切れる「4切り(しきり)名人」を採用。サイズが多様化する冷凍食品をすっきり整理でき、立てて効率良く入れられるので収納量が約20%^{*2}向上します。

さらに、冷凍保存中の鮮度低下の主原因である冷凍やけ^{*3}を抑える「新鮮極み冷凍」を搭載。食品に直接冷気を当てない「冷凍やけガード」で、乾燥や変色、霜つきなどを抑制します。

野菜室は、使いやすい真ん中にレイアウトし、出し入れのたびに屈み込むことなく大物野菜も楽に取り出せます。野菜室全体の密閉性を高め、乾燥を抑える「うるおいガード」と低温制御(約3~5℃)のダブル効果で、野菜の鮮度低下を抑え、栄養素を保持します。

デザイン面では、高品位ガラスドアにフルフラットハンドルを採用。インテリア性を高めた「キッチンファニチャーデザイン」で、システムキッチンや周りの家具と美しく調和します。

品名	プラズマクラスター冷蔵庫		
タイプ	メガフリーザー・フレンチドア		
形名	SJ-GT55B	SJ-GT50B	SJ-GT47B
定格内容積	551L	501L	474L
希望小売価格	オープン		
発売日	8月28日	9月17日	9月17日
月産台数	合計 12,000台		

■ 主な特長

- 551Lタイプで、192Lの大容量冷凍室「メガフリーザー」を実現<SJ-GT55B>
- 野菜室は、大物野菜が出し入れしやすい真ん中レイアウト。野菜をどこに入れても、みずみずしさと栄養素が長持ちする「シャキット野菜室」を採用
- インテリア性を高めた「キッチンファニチャーデザイン」を採用

※1 当社2014年度機種SJ-GF60A(定格内容積601L、冷凍室176L)。

※2 当社調べ。「4切り名人」あり/なしで、SJ-GT55B下段冷凍室1段目ケースの冷凍食品(パッケージサイズ230×140×30mm)収納量を比較。「4切り名人」あり:45個、なし:35個。食品の種類や使い方などにより効果は異なります。

※3 冷凍やけとは、冷凍保存中に食品の水分が昇華することで、乾燥して目減りし、脂質の酸化やタンパク質の変性が起こることです。食品が変色したり、味が落ちたりします。

* プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。

【お問い合わせ先】

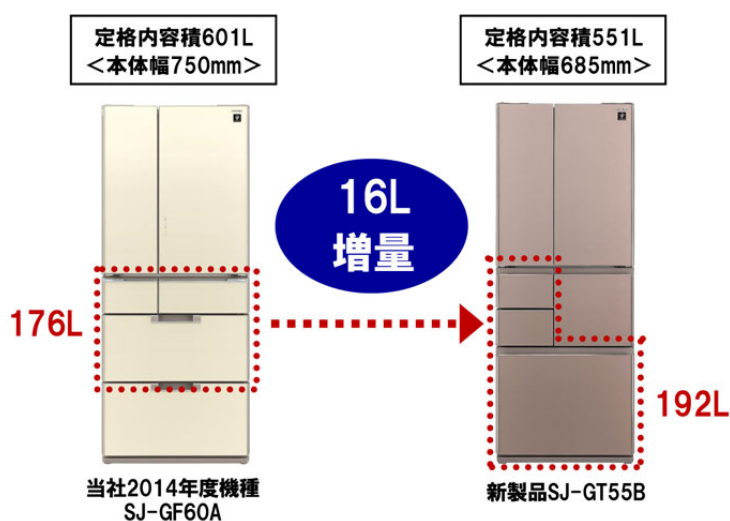
お客様 : お客様相談センターフリーダイヤル ☎ 0120-078-178

■ 特 長

1. 551Lタイプで、192Lの大容量冷凍室「メガフリーザー」を実現<SJ-GT55B>

家事の時短・食の多様化などのニーズの高まりから冷凍食品の利用が拡大する中、年齢や家族数に関係なく約55%の方が冷凍室の容量不足に不満を感じています(当社調査結果N=209)。<SJ-GT55B>は、「冷凍食品をまとめ買いしても困らない、もっとたくさん入る冷凍室が欲しい」というニーズにお応えし、冷却器ユニットのコンパクト化・高効率配置により、551Lの容量ながら、600Lクラス*1の冷凍室容量(176L)を上回る192Lの大容量冷凍室「メガフリーザー」を実現しました。買い物カゴ約5個分も収納でき、大きな食材がそのまま保存できます。

■551Lの容量で、600Lクラス*1を上回る大容量冷凍室を実現した「メガフリーザー」

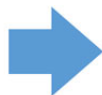


(1) 当社独自、冷凍ケースを自由に仕切れる「4切り(しきり)名人」で、収納量を約20%*2向上

冷凍ケースを自由に仕切れる「4切り(しきり)名人」で、食品のサイズ・形状に合わせて上手に整理することができます。冷凍食品を立てて効率良く入れられるので、収納量が約20%*2向上します。また、食品が探しやすくなり“使い忘れ”も解消できます。



食品を上から積み重ねて入れると、取り出しにくく、収納スペースを効率良く使えない



(2) 当社独自、冷凍やけ^{※3}を抑える「新鮮極み冷凍」を搭載

①上段冷凍室

食品に直接冷気を当てずに乾燥を抑える独自の「冷凍やけガード」を採用。冷凍中の食品の水分保持率を従来機比約2倍^{※4}に高め、変色などの品質劣化も抑えます。



■冷凍保存比較(上段冷凍室1ヵ月保存)^{※4}

<マグロ>

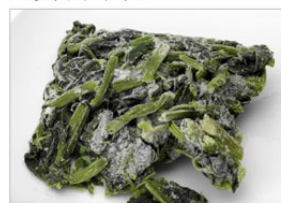


従来冷凍



「新鮮極み冷凍」

<ホウレンソウ>



従来冷凍



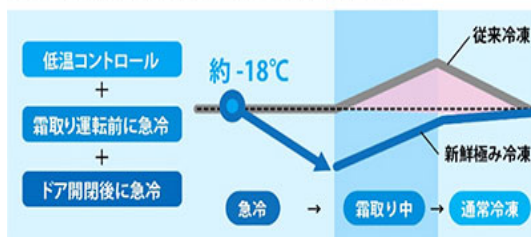
「新鮮極み冷凍」

※4 新製品SJ-GT50B「新鮮極み冷凍」と当社従来製品SJ-XF50Y(2013年度機種)従来冷凍との当社試験比較。ドア開閉ありで1ヵ月保存。●マグロの水分減少率…従来冷凍:17.4%、新鮮極み冷凍:8.3% ●ホウレンソウの水分減少率…従来冷凍:11.3%、新鮮極み冷凍:3.4%。食品の種類や状態などにより効果は異なります。

②下段冷凍室

通常冷凍よりさらに低温で保存するとともに、霜とり運転前やドア開閉後に室内を急冷することで温度上昇を抑え、安定した低温保存を可能にしました。冷凍やけ^{※3}につながる霜つきを抑え、食品の鮮度を守ります。

■「新鮮冷凍」ボタンを押すと、3つの制御が作動



■冷凍保存比較(下段冷凍室1ヵ月保存)^{※4}

<牛ひき肉>



従来冷凍



「新鮮極み冷凍」

2. 野菜室は、大物野菜が出し入れしやすい真ん中レイアウト。野菜をどこに入れても、みずみずしさと栄養素が長持ちする「シャキット野菜室」を採用

真ん中レイアウトの野菜室は、出し入れのたびに屈み込むことなく、大物野菜も楽な姿勢で取り出せます。

また、野菜室全体の密閉性を高め、野菜に直接冷気を当てない独自の「うるおいガード」の採用で、鮮度低下につながる乾燥を徹底的に抑えます。室内全体が高湿度環境となり、野菜をどこに入れてもみずみずしさが保持されます。当社従来野菜室に比べ、野菜の水分保持率が約2倍^{※5}に向上し、より長持ち保存が可能となります。

さらに、安定した低温制御(約3~5℃)で、野菜の呼吸作用を抑制し、ビタミンCなどの栄養素を保持します。



■水分保持効果(6日間保存)^{※5}

<ブロッコリー>



従来野菜室
水分減少率20.6%



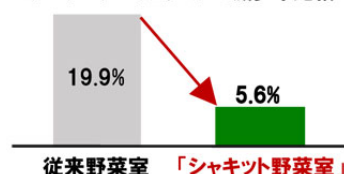
「シャキット野菜室」
水分減少率7.4%



(イメージ)

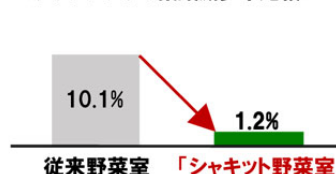
■ビタミンC保持効果(6日間保存)^{※5}

<ブロッコリーのビタミンC減少率比較>



■葉酸保持効果(6日間保存)^{※5}

<ホウレンソウの葉酸減少率比較>



※5 新製品SJ-GT55B「シャキット野菜室」と当社従来製品SJ-XF52S(2009年度機種)従来野菜室との比較試験結果より当社にて算出。ラップなし、ドア開閉なしで6日間保存。【試験依頼先】(一財)日本食品分析センター【試験成績書】第15074929001-0101号他 野菜の種類や状態、収納量などにより効果は異なります。

3. インテリア性を高めた「キッチンファニチャーデザイン」を採用

オープンスタイルのリビングキッチンが増加し、冷蔵庫もより高いデザイン性が求められるようになってきました。

メガフリーザーシリーズは、システムキッチンや周りの家具と調和するようインテリア性を高めた「キッチンファニチャーデザイン」を採用。高品位ガラスドアを美しく見せる狭額縁デザインや、ドア表面の凹凸を廃したフルフラットハンドルにより、キッチンに映える洗練されたフォルムを実現。外観色には、人気のグラデーションレッドに加え、新たに、サテンブラウンを採用。最近のトレンドであるミディアムブラウン系のシステムキッチンにコーディネートしやすく、表面に布の織目模様を配した立体印刷を施すことで、ガラスドアの硬質なイメージに柔らかい素材感を融合させた、新しい風合を生み出しています。

■ その他の特長

1. 25項目の省エネ技術を採用した「節電25」モードで、通常運転に比べ最大約25%^{※6}節電

「節電25」モードを設定すると、庫内温度が安定している時はスリープ制御で主要センサーを除きほとんどの運転を停止、消費電力をこまめに削減します。外出時などドア開閉を長時間行わない時間帯はコンプレッサーを低速回転に切り替え、冷やし過ぎを抑えます。さらに、ドア開閉頻度・貯水量・外気温などもきめ細かく検知し、電力を多く消費する製氷や除霜運転を適切に制御することで、通常運転に比べ最大約25%^{※6}の節電効果が得られます。

※6 「節電25」モードと通常運転との比較。冷蔵室「中」・冷凍室「中」設定、周囲温度35℃での1日当たりの消費電力量から算出。SJ-GT55B:通常運転(自動製氷運転時)1.611kWh→節電25モード(自動製氷一時停止モード時)1.198kWh。JIS C 9801-2006年測定基準とは異なります。使用環境(温度調節・周囲温度・ドア開閉頻度・食品の量など)により、節電効果は変わります。

2. 「プラズマクラスター」で浮遊カビ菌・付着菌を除菌^{※7}

(1) プラズマクラスターによる除菌^{※7}

冷蔵室内にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌や食品表面の付着菌を除菌^{※7}、きれいな冷気が全室を循環します。

- ※7 ■浮遊カビ菌除菌効果(1000Lのボックス内での実験結果、実使用空間での実証結果ではありません。)【試験依頼先】(財)日本食品分析センター【試験成績書】第208020955-001号【試験方法】1,000Lのボックス内にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌を当社がエアサンプラーを用いて採取し、カビ菌数を測定(プラズマクラスターイオン濃度：吹出口200,000個/cm³)【対象場所】冷蔵室内【試験結果】40分で除去率99.4%
 ■付着菌除菌効果【試験依頼先】(財)日本食品分析センター【試験成績書】13007773001-01号【試験方法】冷蔵室内に菌を塗布した寒天培地を配置し、プラズマクラスターイオン放出13日後の生菌数を測定【対象場所】冷蔵室内【試験結果】13日間で除去率99.0%以上

(2) プラズマクラスター見守り運転

冷蔵室ドアを閉めた直後、集中的にプラズマクラスターイオンを放出し、庫内を清潔に保ちます。さらに、人工知能がドア開閉の多い時間帯やキッチンの温度上昇を検知し、自動的にイオンの放出時間を通常時の1.5倍※8まで延長します。

- ※8 ドアを閉めた直後のイオン放出時間(通常時)と、ドア開閉の多い時間帯およびキッチンの温度が30℃以上の場合のイオン放出時間との比較。

3. 地震などの揺れを検知し自動的に冷蔵室ドアをロックする※9「対震ロック」を搭載

地震などにより冷蔵庫が揺れると、本体上部2箇所配置した「対震ロック」が作動し、先端部のレバーが下りて左右のドアが自動的にロックされるので、食品が飛び出すことはありません。また、ドアが開かないので、本体が転倒する要因となる前方への重心の偏りを抑えることができます。揺れが収まると、ロック状態は自動解除されます。

- ※9 揺れの大きさや方向・地質・建物の構造などにより、性能を十分に発揮できない場合があります。

■ 仕 様

形 名	SJ-GT55B	SJ-GT50B	SJ-GT47B
ド ア 数	6 ドア		
定 格 内 容 積	551L	501L	474L
冷 蔵 室	279L	254L	227L
冷 凍 室	192L	173L	173L
野 菜 室	80L	74L	74L
外 形 寸 法			
幅	685mm	685mm	685mm
奥 行	745mm	699mm	699mm
高 さ	1,820mm	1,820mm	1,745mm
ド ア タ イ プ	フレンチドア(センターピラーレス)		
ド ア 材	強化ガラス		
主	メガフリーザー	○	
な	冷 凍 室	新鮮極み冷凍	
	4 切 り 名 人	○	
	野 菜 室	シャキット野菜室(真ん中レイアウト)	
特	節 電 2 5	○	
	プラズマクラスター	○	
長	対 震 ロ ッ ク	○	
色	調	-R(グラデーションレッド)、-T(サテンブラウン)	



シャープ プラズマクラスター冷蔵庫

左より <SJ-GT55B-R(庫内イメージ)> <SJ-GT55B-T(サテンブラウン)>
<SJ-GT50B-R(グラデーションレッド)> <SJ-GT47B-T(サテンブラウン)>